

いわて便り

No.12

2017年6月30日発行

6月号

日本生協連
組合員活動部

北東北も6/21に梅雨入りしましたが、今のところはいい天気が続いています。
岩手県内の仮設住宅入居者数は5月末で1.1万人で、
現在仮設住宅にお住まいの方は、高台造成を待っている方が多数です。
1日も早い住宅再建を願います。



ふれあいサロン

毎月40回開催しています

<陸前高田 中田雇用促進住宅>



母の目を前に、布でカーネーションを作成！
「本物みたーい」と大好評♪

<陸前高田サンビレッジ会場>



手芸の前に、体操で体をほぐしてからスタート。
体を動かすのは、気持ち良いですね♪

<陸前高田 二日市仮設住宅>



陸前高田長部小仮設のサロン終了後、そのサロン
に参加されていた方が二日市仮設のサロンに
参加。参加人数も増えて、とても楽しそうです。

==サロンボランティアの声==

新しくできた「アバッセ（大型複合商業施設）」の
こと、災害公営住宅に生協の移動販売車「にこち
ゃん号」が週2回も来てくれてとても助かっている
ことなどを聞きました。BRT（バス高速輸送
システム）のバス停もできたようですが、買物は
やっぱり大変なようで、「移動販売車はやっぱり必
要だな」と思いました。

（陸前高田市 サンビレッジ会場）

食の支援

復興公営住宅や仮設住宅の談話室で月2回「生協料理サロン」を開催し、
うち1回は、味の素ファンデーションとコラボしています。「昼食をしっ
かりとるのが久しぶり」と単身世帯や高齢者が多いこともあり大変喜ばれ
ています。

また、食べることを大切にしてほしいと作っている「3行レシピ」を使っ
て、ふれあいサロンでもみんなで簡単なメニューを作っています。





全国の生協からたくさんの支援をいただいています！

ふれあいサロンはボランティアスタッフを中心に活動していますが、全国の生協からお菓子や手芸などのキット、現地での支援など、多くの支援をいただいで継続できています。

コープかごしまの組合員のみなさんから模造紙いっぱいのメッセージをいただきました。

このメッセージは、5月下旬に県内各地で開催されたコープ総代会の沿岸地区の会場に飾って、参加者にご覧いただきました。見た方からは「遠く、鹿児島でも、まだ東日本大震災のことを思っているんですね」と話していました。



<支援のお礼をお送りしました>

2016年度にお菓子や募金などで支援をいただいた全国のみなさまに、仮設住宅のみなさんが作った干支の「にわとり」などにメッセージを添えて発送しました。

仮設住まいのみなさんが作った、たくさんの「にわとり」が、ありがたいの思いを届けに全国へ羽ばたいていきました。



他団体の活動紹介

いわて生協では全国の生協から寄せられた募金を活用し、岩手県内で支援活動に取り組む団体を支援する「被災地支援活動助成金」制度を2016年度からスタートしました。このコーナーでは「被災地支援活動助成金」を活用している団体を紹介します。

今回ご紹介する団体は「宮古読み聞かせの会おどっつあんS」です。

「三陸鉄道に乗って電車でまつわる絵本を読んだら面白そうだ」と発想が広がり、15年、16年と2年続けて2両の臨時列車を手配し、「おはなし列車」を走らせました。今回、いわて生協からの助成金を活用して、3月18日に3度目の「おはなし列車」を運行し、約170人の親子が参加しました。「多くの方の善意に深く感謝しています」と全国の生協へのメッセージをいただきました。

「おどっつあんS」はいわて生協の総代会で活動を報告した他、『CO・OP navi』2017年7月号で紹介されました。



3/18 3度目の「おはなし列車」運行

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉